

科 目 名	精神医学Ⅱ(各論)【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	太 田 保 之						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修 (作業) 選択必修 (理学)
授業の概要 及びねらい	2011年、精神疾患は5大疾病の一疾患に指定された。特に顕著な増加を示した気分障害(うつ病)は、1998年から急増した自殺者の背後にある重要な精神疾患として、国民的視点からの対応が迫られている。うつ病の多様な発症過程と臨床経過を理解するための精神科面接の方法を解説する。また、うつ病の発症に関与する心理社会的要因を分析し、地域・職場・家庭における対応を解説する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 精神科診断学的面接が理解できる。 2) 精神療法的面接が理解できる。 3) 地域で生活するうつ病患者への臨床的対応が理解できる。 4) うつ病の急性期治療が理解できる。 5) うつ病の回復期における対応が理解できる。 6) うつ病発症に関与する心理社会的要因が理解できる。 7) 働き盛りの年齢層におけるうつ病発症リスク要因が説明できる。 8) 高齢者のうつ病への臨床的対応が理解できる。 9) 自殺のリスク要因と具体的な予防対策が理解できる。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及び参考書等	関連資料を配付						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				100	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ◎評価する観点 ○評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	精神科面接技法	構成面接など(1)					
第 2 週	精神科面接技法	構成面接など(2)					
第 3 週	精神科面接技法	構成面接など(3)					
第 4 週	精神科面接技法	構成面接など(4)					
第 5 週	精神科面接技法	構成面接など(5)					
第 6 週	うつ病の臨床	発病初期の症状特性(1)					
第 7 週	うつ病の臨床	発病初期の症状特性(2)					
第 8 週	うつ病の臨床	発病初期の症状特性(3)					
第 9 週	うつ病の臨床	回復期の症状特性(1)					
第 10 週	うつ病の臨床	回復期の症状特性(2)					
第 11 週	うつ病の臨床	回復期の症状特性(3)					
第 12 週	うつ病の臨床	自殺の予防と対策について(1)					
第 13 週	うつ病の臨床	自殺の予防と対策について(2)					
第 14 週	うつ病の臨床	自殺の予防と対策について(3)					
第 15 週	うつ病の臨床	まとめ					
第 16 週	うつ病の臨床						
備 考	1) 事前に配布する資料や教科書等で予備知識を持つこと。 2) 講義中の討議には積極的に参加すること。						